

《入間市長賞》

税金からのエール

藤沢中学校 三年 山岡 琴葉

「あ、このティー壊れてる。」

練習で使うはずのティーが折れている。私はソフトボール部に入っていて、目標である県大会出場に向けて日々練習していた。ティーが壊れているとバッティングの練習が十分にできないので先生に相談することにした。そしたら先生は、

「すぐに注文しておくね。」

と言ってくれた。学校から帰ってこのことを母に伝えたら部活の道具は税金で買われていることを知った。てつきり部費で買っているのだと思っていたので驚いた。部費の足りない分を補ってくれているらしい。道具が壊れて注文するのはいつも通りだったがよく考えたらとてもすごいことではないかと思った。私は税金に県大会出場の目標を応援されているのだ！

私たちにとって必要不可欠である教科書には「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへ期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」と表記されている。他にも私たちが学校で使っている机や椅子、校舎自体だって税金でつくられている。大人の方たちが働いたうちのお金にかかる所得税

は国全体の税金の四半を占めている。大人の方たちが私たちの学校生活を応援してくれているのだ。そう考えるととても嬉しく思った。同時にその応援のおかげで私は県大会に出場し、引退した今でも良い思い出として振り返ることができているのだと思った。また、私たちが大人になった時に頑張って働くことでその時の子どもたちの生活を応援できるのだ。

私たち中学生は一人前の大人になれるように頑張っている。義務教育を受けている時期というのは成長する上で大事な時期だと思う。そのような時期に税金をかけ、応援してくれるのは私たちにとって有り難いことだ。もちろんそれは、私たちに対する期待があるからこそ応援してくれるのだと思う。そんな私たちにできることは教科書に書いてあった通り税金によって支給されたものを大切に扱うこと。また、税金からのエールに応えられるように学校生活を楽しく、全力で頑張ることなのだ。